



第 62 回 (平成 25 年度)

彦根市美術展覧会

アートフェスティバル ～美術と音楽のコラボ～

展示目録

会 期 平成 25 年 9 月 16 日 (月・祝) ～ 9 月 23 日 (月・祝)
※ただし、9 月 17 日 (火) は休館です。

時 間 9 時 30 分 ～ 17 時 00 分

会 場  ひこね市文化プラザ (彦根市野瀬町 187-4)

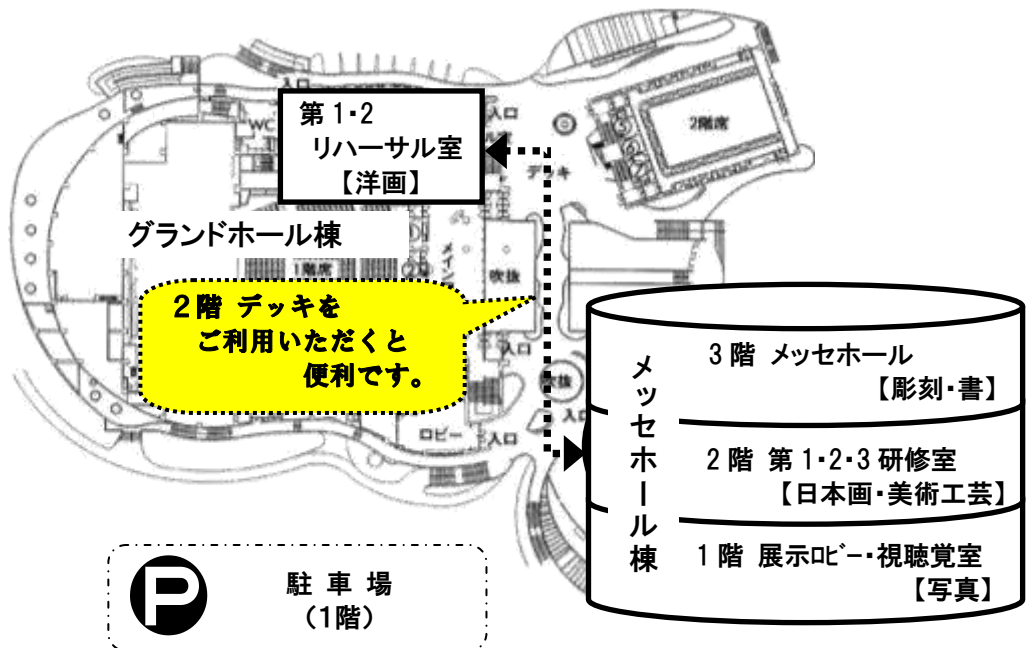
日 本 画	第 1・2 研修室 (メッセホール棟 2 階)
洋 画	第 1・2 リハーサル室 (グランドホール棟 2 階)
彫 刻	メッセホール (メッセホール棟 3 階)
美術工芸	第 3 研修室 (メッセホール棟 2 階)
書	メッセホール (メッセホール棟 3 階)
写 真	展示ロビー・視聴覚室 (メッセホール棟 1 階)

入場無料

< も く じ >

日 本 画	1
洋 画	5
彫 刻	11
美 術 工 芸	14
書	18
写 真	22

【会場案内図】（2階平面図）



日本画部門

審査員：小嶋 悠司 先生

京都府出身

1969年 新制作協会展 新作家賞受賞（以後3回受賞）

1973年 新制作協会日本画部会員となる

1974年 創画会 設立・出品（以後出品）

1980年 京都市立芸術大学 講師となる

1995年 京都市立芸術大学 教授となる

2001年 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞

現在 京都市立芸術大学 名誉教授

< 総評 >

私の望む日本画の絵具の扱いかたを知って使っておられる人が多いのに、大変嬉しく感じました。

ぜひ楽しく描いて下さい。

確かなデッサンも多く感情の溢れ出た色彩に満ちた作品が今年は特に多くあったように思いました。



■ 市展賞 ■

「ねぎの花」 松居 直子

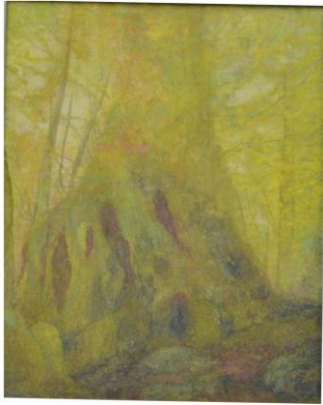
生物に対して深い愛を感じる作品である。画面から出る詩情は情念よりも作者の生活感情そのものである。



■ 特選 ■ <彦根ライオンズクラブ 会長賞>

「屋根」 小島 充子

生活感情のあるデッサンを感じる瓦の歴史と重さと時間をじっくりこれからも出して欲しい。



■ 特選 ■ <京都新聞社賞>

「樹（屋久島）」 北村 妙子

小品ですが良い作品です。
色価のある作品です。ぜひ色価（バルール）を大切に
して下さい。



■ 特選 ■ <朝日新聞社賞>

「樹」 澤 淑子

じっくり描いた作品である。デッサンを続けて下さい。
私も朝ある時に急に何か描けるようになります。
頑張ってください。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「冬枯の湖北」 谷村 純子

色を大切に使うておられます。
もう少し大作を描かれたりしてものびのびとされるのでは。

日本画部門

展示場所：第1・2研修室（メッセホール棟 2階）

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1		ス タ ー ト	いとう けいろう	
2	佳 作	ひ い ら ぎ 南 天	丸山 リツ子	
3		ト ウ モ ロ コ シ	今居 桂子	
4		花 し ょ う ぶ	村瀬 せい子	
5		錦 繡	小 澤 弘	
6		里 山 の め ぐ み	成内 節子	
7		赤 た ま ね ぎ	井上 禎子	
8		銀 杏	松本 喜美	
9		特 選	樹	澤 淑 子
10	秋 草		寺村 やゑ	
11	月 下 美 人		長崎 典子	
12	市 展 賞	ね ぎ の 花	松居 直子	
13		あ ざ み	石原 みち子	
14	特 選	屋 根	小島 充子	彦根ライオンズクラブ 会長賞
15		白 菜 と 柚 子	杉本 恵美子	
16	佳 作	ほ の ぼ の	田中 協子	
17		北風を待つ なかまたち	早崎 清美	
18		盛 夏	北村 とく	
19		竹 仁 草	熊谷 滋美	
20		春 の 日	荒居 年子	
21		コ ン ゴ ウ イ ン コ	牧野 昌代	
22		か ぶ 大 根	加藤 綾美	
23		雪 日	小泉 英子	
24		葱 坊 主	矢 田 明	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
25		つ り が ね 草	竹 内 歌 子	
26		紫 陽 花	長 谷 川 みよ	
27		葛 の 花	杉 本 ミサエ	
28		早 春	山 岡 勝	
29	特 選	樹 (屋 久 島)	北 村 妙 子	京 都 新 聞 社 賞
30		イ メ ー ジ 彦 根	大 橋 宏	
31		春 の 庭	平 松 越	
32		水 仙	曾 我 光 博	
33		朝 顔	高 田 昭 子	
34		シ ン ビ ジ ャ ム	織 田 敦 子	
35		水 面 (カ ラ ー)	志 摩 まゆみ	
36		ア ー テ ィ ー チ ョ ーク	武 藤 愛 子	
37		鬼 瓦	大 村 千 代 子	
38		ひ そ む	滝 沢 千 代 子	
39		登 り 窯	堀 居 千 恵 子	
40		あ る 光 景	澤 邊 雅 子	
41		橋	山 田 政 一	
42		華 の 調 べ	立 江 恵 美	無 鑑 査
43		夏 の 終 り に	深 田 澄 江	無 鑑 査
44		裸 婦	小 嶋 悠 司	審 査 員
45		老 杉 (根 本 中 堂 遠 望)	寺 村 晴 雄	委 員
46		佇 む 小 屋	眞 野 康 洸	委 員
47	無鑑査奨励賞	冬 枯 の 湖 北	谷 村 純 子	無 鑑 査

洋画部門

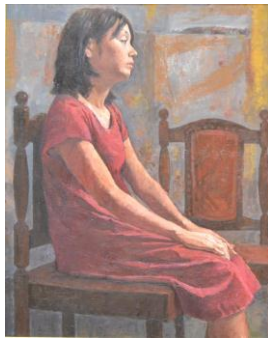
審査員：小灘 一紀 先生

鳥取県出身

1982年	現代の裸婦展入選
1992-95年	日展特選
1997年	第11回日洋会展井手宣道賞受賞
1999年	第31回日展審査員
2002年	第34回日展会員賞受賞
2012年	古事記編纂1300年記念として鳥取、島根、大阪、東京等5ヶ所で展覧会を開催
現在	日展評議員、日洋会理事 大阪芸術大学客員教授、堺美術協会会長 堺市文化財団理事、日本・済洲島神話交流美術展会長

< 総評 >

はじめて審査をさせていただきました。現代は頭の中で描いた作風が多いことですが、市展の出品者はどの作品も身近な物に題材をおいた、熱のこもった作品が多く、好感がもてました。水彩画に表現力のある作品が多かったです。



■ 市展賞 ■ <滋賀県芸術文化祭奨励賞>

「想」 村山 光宏

油彩画の作品の中ではしっかりした重厚な表現力で、人物の情感をよく表現している。



■ 特選 ■ <彦根ロータリークラブ 会長賞>

「菜園を楽しむ」 北川 晴子

菜園を愛情あふれる作風で描き、筆づかいも素朴で、暖かい人柄を感じさせる。



■ 特選 ■ <彦根市教育委員会 教育委員長賞>

「写ってるんです」 小林 淳二

ガラス館の内部を、斬新な構図で描き、リズムある色彩表現となっている。



■ 特選 ■ <彦根南ロータリークラブ 会長賞>

「一隅」 上田 喜美子

異質な物を組み合わせることにより、モダンな静物画となった。描写力があり、色調も落ちついている。



■ 特選 ■ <彦根みずほライオンズクラブ 会長賞>

「湖畔雪化粧」 高田 徳一

最近写真を使用したような作品が多いが、現場で見た感動を直接伝えようとする作者の表現力を評価した。



■ 特選 ■ <国際ソロプチミスト彦根 会長賞>

「水郷の一隅」 夏川 郁子

農家の一隅を、暖かい色調で真面目に描いている。遠近のある構図も良い。



■ 特選 ■ <滋賀彦根新聞社賞>

「清流」 瀬戸口 園子

清らかな溪流ある風景は日本人がもっとも好むところである。

水彩の筆さばきが水の表現を可能にしている。



■ 特選 ■ <中日新聞社賞>

「酒蔵の裏場」 小田柿 弘子

大きい筆づかいで、水彩画の表現の楽しさが伝わってくるようだ。

古い樽と工場がなつかしい。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「Pioneer tree」 土屋 幸

大木の根に、生命が宿っているように、油彩画の特徴を生かして力強い表現となっている。

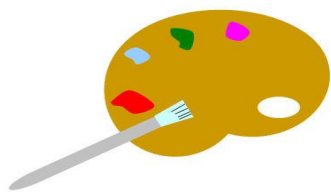
洋画部門

展示場所：第1・2リハーサル室（グランドホール棟 2階）

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考	
1	無鑑査奨励賞	ボトル達の眩き	戸田 雅子	無 鑑 査	
2		潮	今井 博子	無 鑑 査	
3		瓶とコーヒー挽き	福原 善行	無 鑑 査	
4		時空を超えて（I）	門野 三喜重	無 鑑 査	
5		追 想	小田柿 寿郎	無 鑑 査	
6		刻	久川 邦代	無 鑑 査	
7		Pioneer tree	土屋 幸	無 鑑 査	
8		夏の終り	西脇 操	無 鑑 査	
9		さざんか	押谷 たか子	無 鑑 査	
10		古城らんまん	中川 力三郎	委 嘱	
11		モンゴルの女	浜川 富士子	委 員	
12		古い鍵	小灘 一紀	審 査 員	
13		舞妓さと竜さん	吉内 隆夫	委 員	
14		思い出	菅森 菜穂子	無 鑑 査	
15		水の都	比喜多 利彌	無 鑑 査	
16		喜び楽しみ健康長寿	伊 藤 稔	無 鑑 査	
17		観音様	久田 知恵子	無 鑑 査	
18		紫陽花	西澤 廣子	無 鑑 査	
19		鎮魂と再生（ヒロシマ）	北川 八恵子	無 鑑 査	
20		綿向山	土田 由一	無 鑑 査	
21		寛ぐ人	石原 省吾	無 鑑 査	
22		詩	百々 修子	無 鑑 査	
23		收穫	吉岡 たみ子	無 鑑 査	
24		八瀬にて	島野 安子	無 鑑 査	
25		落葉と女の子	若林 一男		
26		サロマ湖畔	竹原 貞子		
27		秋桜	今村 栄子		
28		伊吹山	松本 廣子		
29		ポーズとる女	喜多 善一郎		
30		佐和山夢語り	宮田 治男		
31		画室の一隅	加納 玲子		
32		特 選	菜園を楽しむ	北川 晴子	彦根ロータリークラブ 会長賞
33			数か月前泳いでました	増田 美代子	
34			晩秋	丸山 恭子	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
35		刻	宮川 さと子	
36		櫂 (け や き)	堀畑 末一	
37		思 い 出 の 道	中野 正雄	
38		鹿 島 槍 ケ 岳	菰田 義博	
39		風 雪 に 裂 か れ て も	川本 京子	
40	特 選	湖 畔 雪 化 粧	高田 徳一	彦根みずほライオンズクラブ 会長賞
41		古 い 蔵	広瀬 巖	
42		水 の 都 ベ ネ チ ア	藤居 澄子	
43		懐 か し の 駅 舎	渡辺 康雄	
44	市 展 賞	想	村山 光宏	滋賀県芸術文化祭奨励賞
45		古 寺 の 彩 り	乗嶋 育子	
46		パ ワ ー ス ポ ッ ト	八木 清子	
47	特 選	酒 蔵 の 裏 場	小田柿 弘子	中日新聞社賞
48		川 辺	北川 司郎	
49		祠 堂 の 守 護 神	百田 勝彦	
50		雪 の 講 堂	江竜 美子	
51		大 空 に 舞 う	田島 久子	
52	佳 作	初 夏	川瀬 加代子	
53		常夏の島に遊ぶ(グランカナリヤ)	伊藤 壽美江	
54		姉 弟	小林 知恵子	
55		白 鳥	中村 修	
56	特 選	写 っ て る ん で す	小林 淳二	彦根市教育委員会 教育委員長賞
57		地 球 の 危 機 を 救 う	宮地 正子	
58		稲 苺 り	浅居 浩	
59		初 夏 ・ 収 穫	辻 廣之	
60		集会(日野町川原)	松野 幸恵	
61	佳 作	ご 苦 勞 様	古川 文雄	
62		伊 庭 内 湖	杉原 慧子	
63		寒 い 朝	小松原 正二	
64		た ま ね ぎ	目戸 てるよ	
65	佳 作	雨 の あ と	田村 欣実	
66		レ リ ー フ 「 女 神 」	児玉 正孝	
67		参 堂	小泉 英子	
68		彦 根 市 久 左 の 辻	上野 文子	
69	特 選	一 隅	上田 喜美子	彦根南ロータリークラブ 会長賞
70		スレイマニエ モスク	中山 ます江	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
71	特 選	朝 霧 の 中 で	大 橋 好 子	滋 賀 彦 根 新 聞 社 賞
72		山 里 の 入 母 屋 の 家	川 口 昭 次 郎	
73		清 流	瀬 戸 口 園 子	
74		町 並 の 一 隅	兒 玉 照 子	
75		枯 れ ひ ま わ り	執 行 明 美	
76		故 郷 の 山 ” 蔵 王 連 峰 ”	坂 野 諒 子	
77		蘇 州 の 小 川	西 村 知 子	
78		錦 秋 の 愛 知 川 溪 流	山 田 寅 之 助	
79		準 備 中	木 村 文 華	
80		待 春	中 野 裕 子	
81	特 選	水 郷 の 一 隅	夏 川 郁 子	国 際 ソ ロ プ チ ミ ス ト 彦 根 会 長 賞
82		北 海 の 幸	竹 田 建 行	
83		憩 い	坂 東 美 代 子	
84		レ ス ト ラ ン の 女 主 人	北 川 彰	
85		ウ ォ ー キ ン グ コ ー ス	松 田 幸 子	
86		牡 丹 の あ る 静 物	大 久 保 恭 子	
87		境 内 の 朝	吉 田 好 宏	
88		堰 止 め 湖	正 木 喜 八 郎	
89		棚 田 の 秋	竹 内 圭 子	
90		春 の 堀	小 林 淑	
91		暮 し の 中 に	西 野 和 子	
92		ひ だ ま り	岡 美 江	
93		ガ ー ド 下 を 行 く	塩 谷 雅 子	
94		夢 想 花	関 寿 賀 子	
95		法 隆 寺 界 隈 の 塀	辻 隆 子	
96		亡 父 の 花	中 川 通 代	
97		梅 雨 の 頃 (奈 良 井 宿)	磯 部 幸 子	
98		シ ー さ あ	川 村 嘉 則	



彫刻部門

審査員：竹谷 邦夫 先生

京都府出身

1980年 第34回滋賀県展 文部大臣奨励賞受賞

1981年 第28回全関西美術展 関展賞一席受賞

1983年 第35回京展 市長賞受賞

1991年 第21回日本彫刻会展 日彫賞受賞

1994年 第26回日展 特選受賞

1997年 第29回日展 特選受賞

現在 (社)日展 会員、(社)日本彫刻会 会員、京都精華大学 非常勤講師

< 総評 >

塑像、木彫、陶彫など多様な表現があり、見応えのある展示となりました。
彫刻はいろいろな手法で取り組むことができます。
みなさんもつくる喜びを味わってください。

■ 市展賞 ■

「Memory」 田中 亨

的確なモデリングにより、人体の豊かな量感が表現された秀作である。





■ 特選 ■ <彦根市議会 議長賞>
「圏谷」 藤本 喜一郎

立方体の組み合わせが、心地よい空間を感じさせ、色も作品も引き立てている。



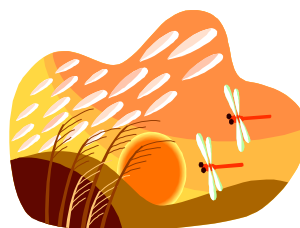
■ 無鑑査奨励賞 ■
「おつかい」 石原 貴

体重の移動による動きが魅力的で、とてもきれいな立ち方をした作品です。

彫刻部門

展示場所：メッセホール（メッセホール棟 3階）

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1		十 一 面 観 音	秋 口 亭 々	
2		夏 の 子	小 谷 政 雄	無 鑑 査
3		北 の 空	竹 谷 邦 夫	審 査 員
4		恐 竜 プ ロ ト ケ ラ ト プ ス	三 浦 正 夫	
5	特 選	圏 谷	藤 本 喜 一 郎	彦 根 市 議 会 議 長 賞
6	無鑑査奨励賞	お つ か い	石 原 實	無 鑑 査
7	市 展 賞	M e m o r y	田 中 亨	
8		愛 する 福 島 の 人	森 下 幹 夫	
9		樹 陰	森 武 司	委 員
10	佳 作	胎 動	石 原 不 二 子	
11		蛙	曾 根 理	
12		湖 風 の 街 で	志 萱 州 朗	委 員



美術工芸部門

審査員：竹尾 久之 先生

大阪府出身

1974年 陶磁器デザインコンペ 入賞（'75年）
1980年 滋賀県物産デザインコンクール 大賞受賞
1983年 第1回朝日現代クラフト展 入選
1985年 陶磁器デザインコンペティション 銅賞受賞
1986年 // 金賞受賞
第1回国際陶磁フェスティバル美濃展 入選

現在 長浜養護学校 特別非常勤講師、彦根総合高校 非常勤講師
びわこ文化センター 講師、障害者施設 湖北会まこも作業所 陶芸指導員
浅井文化協会 会長、芸術創造社 タケアート 主宰

< 総 評 >

去年と劣らず、力作がそろい、楽しい展覧会となりました。発想も豊かで、独創性を持った世界を創りだす皆さんの顔がうかびます。
これからもより魅力ある創作に期待いたします。

■ 市展賞 ■

「龍の遠音」

尾本 貢一

龍の螺鈿を施した緻密な重厚感のある作品。
笛からは龍をも踊らす怪しげな音色がでるのでしょう。



■ 特選 ■ <彦根商工会議所 会頭賞>

「秋光」 伊藤 美子

流動感あるバランスの良い作品。
織部と鉄砂のコンビネーションが作品を力強くしています。



■ 特選 ■ <NHK大津放送局長賞>

「森の仲間達」 木伏 登志子

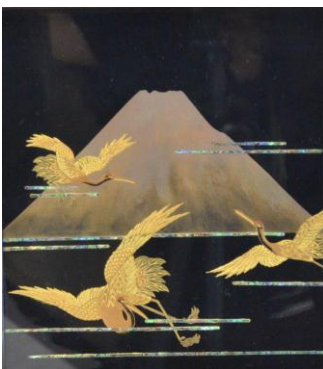
ロマンスのある温かい作品。
額縁の処理が大変素晴らしい。
人々を勇気づける物語が感じられます。



■ 特選 ■ <KBS京都賞>

「輪舞曲 ~ロンド」 北村 久美子

躍動感があり、シンプルな造形と紋様が上手くマッ
チングされています。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「よろこび」 舟越 弘子

よろこびの世界を鶴の乱舞で表情豊かに構成された
バランスの良い素晴らしい作品です。

美術工芸部門

展示場所：第3研修室（メッセホール棟 2階）

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1		織 部 中 皿	岩 崎 直 樹	
2		切 り 絵 あ じ さ い	山 本 勝 彦	
3		茶 碗 （ 淡 雪 ）	山 本 忍	
4		ファゴナールの美人画を彫る	秋 口 亭 々	
5		「古事記」より 天乃岩戸	小 杉 智 史	
6		御 衣 黄	安 田 香 代 子	
7		3 D	小 杉 明 生	
8		出 会 い	田 中 保 美	
9		遊 糸 I	山 田 隆 夫	
10		吹 雪 の 芹 川 堤	川 端 澄 代	無 鑑 査
11		干 支	吉 田 文 彦	
12		バ ラ に 想 い を	廣 野 恭 子	委 員
13	佳 作	ア マ リ リ ス	松 宮 陸 朗	
14	無鑑査奨励賞	よ ろ こ び	舟 越 弘 子	無 鑑 査
15	特 選	森 の 仲 間 達	木 伏 登 志 子	NHK大津放送局長賞
16	佳 作	文化刺繍「SWING」	古 川 勇	
17		さ ざ な み の 思 い II	い とう けいろう	無 鑑 査
18		夕 陽 の 長 浜 城	藤 本 寿 賀 子	
19		湖 上 の 舞	片 岡 公 子	
20		碧 の 壺	樋 口 照 美	
21		石 榴	澤 村 美 津 子	
22		花 の 咲 く 丘	古 野 信 子	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
23		井 伊 の 赤 兜	山 口 四 郎	
24		森	佐 渡 一 清	委 員
25		松 毬	古 川 良 江	
26		竹 雫	西 沢 弘 美	
27	佳 作	漂 宙	舟 越 一 生	
28		ガウディに魅せられて	長 谷 川 幸 子	無 鑑 査
29		神 奈 川 沖 浪 裏 葛飾北斎錦絵富嶽三十六景四十六図	谷 本 佳 代 子	
30		懐 か し い 商 店	近 藤 秀 明	
31		悠 悠	大 冨 由 盛	無 鑑 査
32		美 輪 壺	竹 尾 久 之	審 査 員
33	特 選	秋 光	伊 藤 美 子	彦根商工会議所 会頭賞
34		粹	藤 野 圭 世	
35		炎 暑 の ひ と と き	奥 村 小 夜 子	
36	市 展 賞	龍 の 遠 音	尾 本 貢 一	
37		惑 星	田 井 中 新 次	
38	特 選	輪 舞 曲 ～ ロ ン ド	北 村 久 美 子	K B S 京 都 賞



書 部 門

審査員： 疋田 惜陰 先生

滋賀県出身

日展入選 31回など

現在 日展会友

読売書法会理事・審査員

謙慎書道会常任理事・審査員

< 総 評 >

実力伯仲。若い力からベテランまで、作品に対する熱意が感じられるレベルの高い出品作に恵まれた。

特に、若い人達の作品は将来に希望を与えるものも多く、彦根文化の高さを感じさせる。

■ 市展賞 ■

「百人一首」 加藤 恵

墨量の変化、散らしの妙、料紙とも調和し美しく見事にまとめ上げた。



■ 特選 ■ <彦根タイムス社賞>

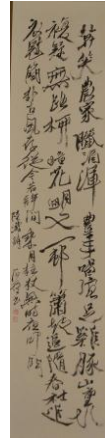


「李白詩」 佐野 美千子

一画一画を丁寧に書き、地味ながら味わい深い作品。

作者の書に対する姿勢が感じられる。

■ 特選 ■ <BBCびわ湖放送賞>



「陸游詩」 小林 由喜枝

練達の筆使い、結体の妙、華麗にまとめ上げた。

線質の変化も美しい。

■ 特選 ■ <平和堂財団 理事長賞>
<次世代芸術奨励賞>

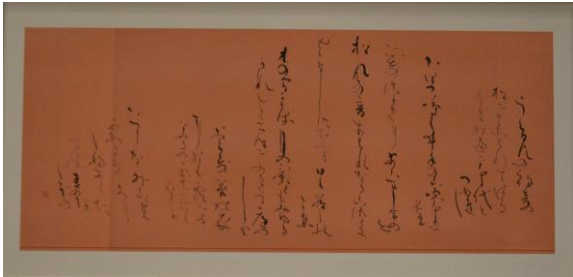


「臨 張瑞図」 宮本 真衣

行間を広めにとり、絞り上げた字形でまとめた秀作。紙の色ともマッチして美しい。

■ 特選 ■ <産経新聞社賞>

「松風」 森野 美佐子



墨量の変化、料紙の色とも調和し、美しくまとまった広がりを感じさせる作品。

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
1	市 展 賞	百 人 一 首	加 藤 恵	
2	特 選	李 白 詩	佐野 美千子	彦根タイムス社賞
3	特 選	陸 游 詩	小林 由喜枝	BBCびわ湖放送賞
4	特 選	臨 張 瑞 図	宮 本 真 衣	平和堂財団 理事長賞 次世代芸術奨励賞
5	特 選	松 風	森野 美佐子	産 経 新 聞 社 賞
6	佳 作	臨 董 其 昌	大橋 亜弥	次世代芸術奨励賞
7	佳 作	臨 傅 山	小川 愛純	次世代芸術奨励賞
8	佳 作	蘇 頌 の 詩	松田 江美子	
9	佳 作	漢 詩 句	筒井 和彦	
10		盧 綸 詩	上條 翠波	
11		李 嶠 詩	内堀 政子	
12		李 白 詩	成宮 まき	
13		心	堤 豊 宏	無 鑑 査
14		や つ が し ら	後藤 有啓	無 鑑 査
15		四 字 句	大道 光榮	無 鑑 査
16		古 今 集 二 首	北川 依子	無 鑑 査
17		王 瑤 湘 の 詩	山田 祥代	無 鑑 査
18		わ が そ の	岡野 有泉	無 鑑 査
19		朱 子 勸 学 文	西脇 大雄	委 員 査
20		扇 面	足田 惜陰	審 査 員
21		た き の お と は	安居 孝昌	委 員 査
22		井 伊 大 老 の う た	伊藤 舞香	無 鑑 査
23		温 庭 筠 句	中 村 哲	無 鑑 査
24		古今和歌集序の一節	高萩 有子	無 鑑 査
25		一 生 精 進	押谷 達彦	無 鑑 査
26		菜 根 譚 八 、 九	内西 謹子	無 鑑 査
27		生 き る 力	川村 啓子	無 鑑 査
28		臨 関 戸 本	田中 八重子	
29		漢 詩 句	青根 正美	
30		杜 甫 詩	森 直 子	
31		漢 詩	村田 久子	
32		万 葉 の う た	山口 敦子	
33		梧竹堂書話の一節	細 溝 恵	
34		九 日 齊 山 登 高	柴田 翠湖	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
35		李 嶠 詩	諸岡 富美子	
36		江 馬 細 香 詩	江 竜 美子	
37		七 言 句	近 藤 暁彦	
38		蜀 素 帖	疋 田 礼子	
39		千 字 文 一 節	大 菅 佳美	
40		臨 王 鐸	小 城 美奈	
41		臨 本 阿 弥 切	木 村 優斗	
42		臨 張 猛 龍 碑	楠 木 飛鳥	
43		臨 王 鐸	角 田 百合菜	
44		臨 伊 都 内 親 王 願 文	高 木 舞香	
45		臨 米 芾	中 村 美友	
46		臨 趙 孟 頫 行 書 千 字 文	三 崎 友理香	
47		臨 篆 書 般 若 心 經	松 井 彩花	
48		臨 李 嶠 詩	島 田 光季	
49		臨 松 風 閣 詩 卷	大 野 令真	
50		臨 何 紹 基	楠 亀 礼佳	
51		水 荃 の あ と	金 子 はま子	
52		蜀 素 帖	亀 山 英雄	
53		遠 上 寒 山 石 径 斜	西 川 一男	
54		臨 粘 葉 本 和 歌 朗 詠 集	岡 川 夏実	
55		四 季 の 歌	廣 瀬 節子	
56		臨 李 太 師 帖	若 林 里歩	
57		蜀 素 帖	杉 本 栄子	
58		臨 孫 秋 生 造 像 記	三 上 朋華	
59		日 々 是 好 日	山 下 明宏	
60		臨 金 冬 心	澤 田 知佳	
61		許 心 辰 の 詩	外 村 圭子	
62		臨 十 七 帖	富 永 燦子	
63		西 行 の 歌	北 村 芙美子	
64		臨 蜀 素 帖	澤 村 保奈美	
65		う さ ぎ と か め	橋 本 洋子	
66		粘 葉 本 和 漢 朗 詠 集	高 原 飛水	
67		関 戸 本 古 今 集	若 松 淡雪	
68		秋 の 夕 ぐ れ	堤 笑子	

写真部門

審査員：原田 文裕 先生

徳島県出身

2009年 瑞宝単光章 受賞

2011年 個展「露子の生家」

2012年 個展「興正寺別院」

2013年 個展「寺内町讃歌」

現在 大阪府写真技能士 主席検定委員、(社)日本広告写真家協会 学術会員
(社)日本写真文化協会 会員、一般社団法人 露香会 理事
(学)日本写真映像専門学校前校長

< 総評 >

自然に恵まれて美しいネイチャーが多く見られました。

独自の構図や矩形など随所に工夫があり、好ましい感じです。

いざ、撮影と構えてではなく、身近な光景の中にも感動的なシーンは多くあるので、それ等にもカメラを向けて欲しいですね。



■ 市展賞 ■

「三多気の桜」 相田 行雄

光と構図、シャッターチャンスが合致した風景写真の決定的瞬間。

画面から奥行き、^{ひろが}宙り、リズム、透明感等が感じられる深遠な作品です。



■ 特選 ■ <彦根観光協会 会長賞>

「視せん」 澤田 賢二

シルエットながら海面を見つめる少年の表情が伺えます。

夕陽と少年の位置、雲の形等細部に亘り目の行き届いた作品です。



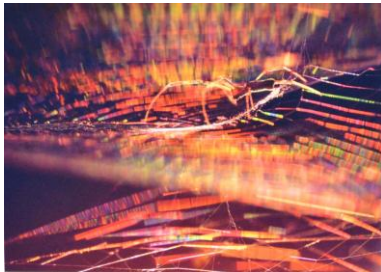
■ 特選 ■ <彦根青年会議所 理事長賞>
「護摩焚き」 強力 美津雄

中央の炎の映りが効果的な護摩焚き独特の煙が見事です。
人物の配置もよく、誰一人無駄の動きがない抜群のシャッターチャンスです。



■ 特選 ■ <彦根文化新聞社賞>
「朝霧に包まれ」 佐竹 鉄次郎

紫陽花のボリュームが醸し出す遠近感、霞による大気の遠近感、構図での遠近感表現等がベストマッチングしています。



■ 特選 ■ <エフエムひこね賞>
「クモの巣の煌めき」 伊藤 治

蜘蛛の巣がフットライトで赤く煌き、マクロ撮影での深度の浅さを巧みに利用して相乗効果で幻想的な作品に仕上げています。



■ 特選 ■ <彦根市教育委員会 教育長賞>
「朝光霧氷」 鈴木 秀人

霧氷の逆光撮影は定石ですが、朝光の採り入れ方が絶妙で、霧氷本来の色彩と異なったファンタジックな表現となりました。



■ 特選 ■ <毎日新聞社賞>

「ひとやすみ」 大島 喜八郎

トンボの背景が実に効果的です。フォーカス管理も背景処理も見事なシンボリックな作品です。



■ 特選 ■ <読売新聞大阪本社賞>

「湖上に炸裂」 居原田 順治

下部中央から放射線状に花火の表現に好感が持てます。色、形も良いのですが、下の中央にもう一つ欲しいです。



■ 特選 ■ <近江同盟新聞社賞>

「好奇心」 馬淵 捨次郎

紅葉の間から覗く猿と正対した瞬間でインパクトが強くなりました。

ストロボで葉のトーン等を整えたのが効果的です。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「光のモザイク」 小椋 俊道

網状の中に巳の字が浮かび、人影が点在するユニークな作品。

創作へのチャレンジ精神が感動として醸成しました。

<資料>

出品数

	一 般	無 鑑 査	委 嘱 等	計
日 本 画	45	3	3	51
洋 画	74	20	4	98
彫 刻	7	2	3	12
美術工芸	32	5	3	40
書	60	12	3	75
写 真	154	14	3	171
計	372	56	19	447

入賞および入選数

	市展賞	特 選	佳 作	入 選	無鑑査 奨励賞	計
日 本 画	1	3	2	35	1	42
洋 画	1	7	3	63	1	75
彫 刻	1	1	1	4	1	8
美術工芸	1	3	3	23	1	31
書	1	4	4	44	0	53
写 真	1	8	3	80	1	93
計	6	26	16	249	5	302

審査員および委員

(敬称略・順不同)

	審 査 員	委 員
日 本 画	小 嶋 悠 司	寺 村 晴 雄 眞 野 康 洸
洋 画	小 灘 一 紀	吉 内 隆 夫 浜 川 富 士 子
彫 刻	竹 谷 邦 夫	志 萱 州 朗 森 武 司
美術工芸	竹 尾 久 之	佐 渡 一 清 廣 野 恭 子
書	疋 田 惜 陰	西 脇 大 雄 安 居 孝 昌
写 真	原 田 文 裕	中 村 一 雄 北 坂 仁 郎



彦根市美術展覧会

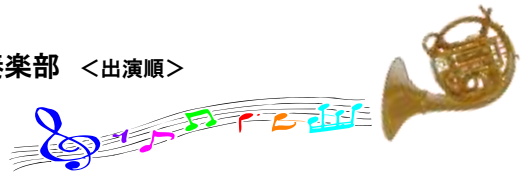
アートフェスティバル～美術と音楽のコラボ～



芸術の秋！美術展覧会期間中に様々な催し物(コンサート・講評会等)を開催します。
皆様のご来場をお待ちしています

9月16日(月・祝) オープニングコンサート

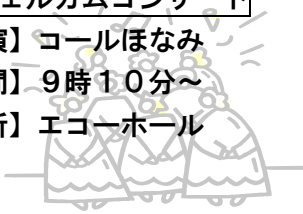
【出演】彦根JOYジュニアオーケストラ
市立彦根中学校・吹奏楽部 市立南中学校・吹奏楽部 <出演順>
【時間】14時00分～
【場所】エコーホール



9月21日(土) ウェルカムコンサート・表彰式・作品講評会

ウェルカムコンサート

【出演】コールほなみ
【時間】9時10分～
【場所】エコーホール



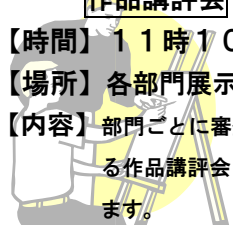
表彰式

【時間】9時40分～
【場所】エコーホール
【内容】市展賞をはじめ、入賞された
皆様へ表彰状の授与を行います。



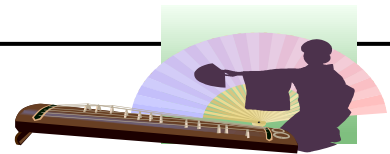
作品講評会

【時間】11時10分～
【場所】各部門展示会場
【内容】部門ごとに審査員による
作品講評会を実施します。



9月23日(月・祝) 会場コンサート

【出演】京都當道 琴尚会(彦根箏曲連盟)
【時間】14時00分～ 【場所】メッセホール



主催：彦根市、彦根市教育委員会

後援：彦根市議会、彦根商工会議所、(公社)彦根観光協会、(公社)彦根青年会議所
彦根ロータリークラブ、彦根南ロータリークラブ、彦根ライオンズクラブ
彦根みずほライオンズクラブ、国際ソロプチミスト彦根、(公財)平和堂財団
NHK 大津放送局、NHK びわ湖放送、KBS 京都、朝日新聞大津総局
毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局、中日新聞社、京都新聞滋賀本社
産経新聞社、78.2FM彦根、(有)近江同盟新聞社、彦根文化新聞社
彦根タイムス社、滋賀彦根新聞社

彦根市美術展覧会事務局 (彦根市教育委員会事務局 教育部 文化振興室)

〒522-0055 彦根市野瀬町 187-4 ひこね市文化プラザ・メッセホール棟 1階

TEL.0749-23-7810 FAX.0749-21-3080

<http://www.city.hikone.shiga.jp/edu/>